

2025年7月4日
Stellantis ジャパン株式会社

アルファ ロメオ 2025年ミッレミアで圧巻の勝利

- 1929年製 6C 1750 が優勝、アルファ ロメオが表彰台を独占
- 1956年製 1900 スーパー スプリントが、ルナ・ロッサと共に走破
- 現行モデルがサポートカーとして参加。ブランドラインアップの現在を紹介
- 新型 33 ストラダレが一般公開で公道デビュー



2025年6月21日、トリノ発 — アルファ ロメオは、「世界で最も美しいレース」と称されるミッレミアの第43回大会において、ヴィラ・トラスクア チームの1929年製「アルファ ロメオ 6C 1750 スーパー スポルト」が優勝を果たし、歴史的な勝利を収めました。ドライバーはヴェスコ&サルヴィネッリ組。さらに、アルゼンチンのエレホモヴィッチ&ジャノス組が操る 6C 1500 SS、トンコノジ&ルッフィー二組の 6C 1750 GS スパイダー ザガートも表彰台に上がり、アルファ ロメオがトップ3を独占しました。

沿道の観客の視線を集めたのは、1956年製「アルファ ロメオ 1900 スーパー スプリント」。この名車は、イタリアを代表するセーリングチーム「ルナ・ロッサ」とアルファ ロメオのパートナーシップの象徴として、今回のミッレミアに登場しました。ステランティス・ヘリテージ・コレクションに属し、普段はイタリア・アレーゼにあるアルファ ロメオ歴史博物館に展示されているこの車両は、ルナ・ロッサ チームの手によって1900kmのコースを完走しました。2025年にナポリ湾で初開催されるアメリカズカップに向けて、

両者の結びつきはさらに強まっています。コーナーを駆け抜け、坂道を登るその姿は、1950年代の紳士ドライバーたちに愛されたエレガンスとスポーティさを今に伝えていきます。

ミッレミリアは過去を讃えるだけでなく、未来への架け橋でもあります。アルファ ロメオの現行ラインアップも、サポートカーとして参加しました。ブランド初のミッレミリア優勝を記念した、特別仕様のジュリア クアドリフォリオ スーパースポルト、高性能CセグメントSUVのトナーレ、そして新型ジュニア ハイブリッド Q4などが、アルファ ロメオのスポーティさ、スタイル、パフォーマンスを体現しました。

さらに注目を集めたのが、新型「アルファ ロメオ 33 ストラダレ」の公道デビューです。1960年代の伝説的モデルを現代に蘇らせたこのモデルは、わずか33台限定で製造され、イタリア・ミラノの老舗カロッツェリア（車体製造業者）「ツーリング・スーパーレジェーラ」との共同開発により、クラフトマンシップと革新性を極限まで高めた一台です。「世界で最も美しい車のひとつ」と称されるオリジナルの精神を受け継ぎながら、ブランドの未来を象徴する存在として登場しました。

アルファ ロメオの過去、現在、そして未来が交差する舞台、それがミッレミリアです。1930年、伝説のドライバー、タツィオ・ヌヴォラーリはジョヴァンニ・バッティスタ・グイドッティとともに6C1750でこのレースに挑み、平均時速100kmという前人未達の記録を打ち立てて優勝しました。当時はまだ舗装されていない道も多く、その偉業は今なお語り継がれるべきものです。ミッレミリアは、単なるクラシックカーレースではなく、「美しさとスピード」「伝統と革新」を体現し続ける、アルファ ロメオの精神そのものを映し出す存在です。

※当リリースは、イタリア トリノにて 2025年6月21日に発行されたプレスリリースの抄訳です

以上

問い合わせ先（報道関係者）
Stellantis ジャパン株式会社 広報部
stellantis-japan-pr@stellantis.com（広報部代表）
メディアサイト：<https://www.stellantis.jp/>